

(参考4) 我が国を取り巻く安全保障環境

我が国の管轄海域

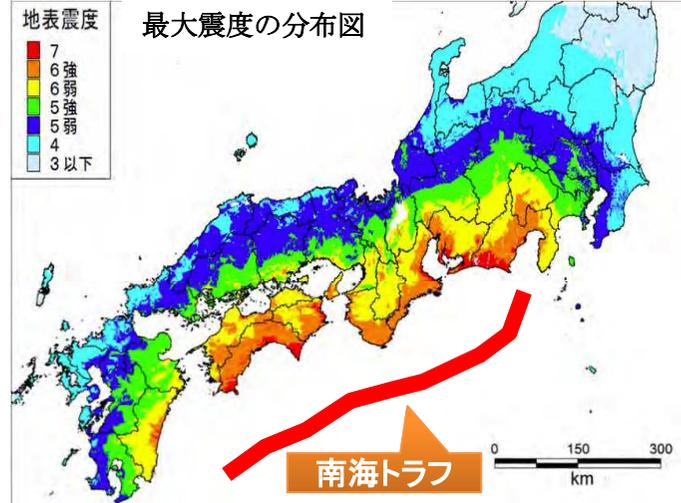


【参考データ】

- 管轄海域面積
約447万km² (世界第6位)
- 構成島数 6,852
- 東西距離、南北距離ともに約3,000km
- 貿易に占める海上貿易割合
99.7% (重量ベース)

今後発生が懸念されている地震災害

南海トラフ巨大地震と被害想定



出典：「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）
強震断層モデル編—強震断層モデルと震度分布について—」

【最大の被害想定】

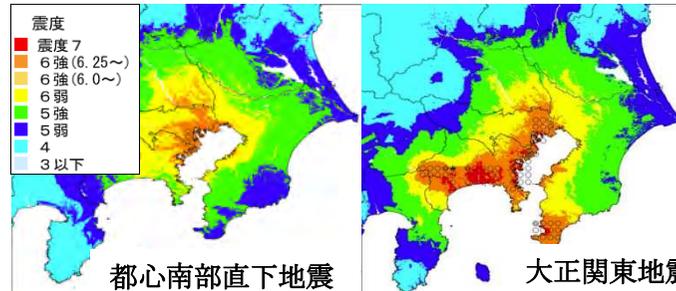
人的被害 (最大値)	東海地方で大きく被災 冬・深夜、風速3m/s、避難率低下
死者数 (津波)	約323,000人 (約230,000人)
負傷者数	約623,000人
建物被害 (最大値)	東海地方で大きく被災、 冬・夕18時、風速8m/s
全壊棟数 (津波)	約2,382,000棟 (約146,000棟)

出典：「南海トラフ巨大地震の被害想定について（第一次報告）」

首都直下地震と被害想定

【都心南部直下地震(7.3)及び大正関東地震(8.2)の震度分布図】

出典：「中央防災会議 首都直下地震対策検討ワーキンググループ
—首都直下地震の被害想定と対策について—（最終報告）」



※今後30年間に70%の確立で発生

※当面発生する可能性は低い

【最大の被害想定】

都心南部直下地震	
人的被害	
死者数 (建物倒壊等)	約23,000人※1 (約6,400人)
負傷者数 (重傷者)	約123,000人※1 (約24,000人)
要救助者	約72,000人※2
避難者(2週間)	約7,200,000人
建物	
全壊及び焼失	約610,000棟※1

※1 冬・夕、風速8m/s

※2 冬・深夜

Ⅲ 我が国の防衛の基本方針

我が国防衛の基本方針

国家安全保障戦略を踏まえた積極的平和主義

- 国際協調主義に基づく積極的平和主義の観点から、我が国自身の能力・役割を強化・拡大
- 日米同盟を基軸として、各国との協力関係を拡大・深化
- 我が国の安全及びアジア太平洋地域の平和と安定を追求しつつ、世界の平和と安定及び繁栄の確保に、これまで以上に積極的に寄与

総合的な防衛体制の構築

- 総合的な防衛体制を構築し、各種事態の抑止・対処のための体制を強化
- 日米同盟を強化しつつ、諸外国との二国間・多国間の安全保障協力を積極的に推進
- 防衛力の能力発揮のための基盤の確立

専守防衛・文民統制・非核三原則等

- 日本国憲法の下、専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にならないとの基本方針に従い、文民統制を確保し、非核三原則を守りつつ、実効性の高い統合的な防衛力を効率的に整備

核兵器の脅威への対応

- 核兵器の脅威に対しては、核抑止力を中心とする米国の拡大抑止は不可欠
- 弾道ミサイル防衛や国民保護を含む我が国自身の取組により適切に対応
- 核軍縮・不拡散のための取組に積極的・能動的な役割を果たしていく

3つのアプローチ

一層厳しさを増す安全保障環境において、我が国の主権・独立を維持し、領域を保全し、我が国国民の生命・身体・財産の安全を確保して、我が国の平和を維持し、その存立を全うするための柱となるのは以下の3つ

① 我が国自身の努力

- 総合的な防衛体制の構築
- 統合機動防衛力

② 日米同盟の強化

- 抑止力及び対処力の強化
- 幅広い分野における協力の強化・拡大
- 在日米軍駐留に関する施策の着実な実施

③ 安全保障協力の積極的な推進

- アジア太平洋地域における協力
- 国際社会との協力

総合的な防衛体制の構築

- 実効性の高い統合的な防衛力を効率的に整備
- 統合運用を基本とする柔軟かつ即応性の高い運用に努める
- 地方公共団体、民間団体等とも連携。事態の推移に応じ、政府一体となってシームレスに対応
- 各種災害への対応や国民の保護のための各種体制を引き続き整備
- 緊急事態において在外邦人等を迅速に退避。安全確保に万全の態勢



- 各種計画等の体系化を図りつつ、策定・見直しを進める
- 総合的な訓練・演習を拡充し、対処態勢の実効性を高める



国民保護訓練において除染を行う陸自隊員



アルジェリアにおける在外邦人輸送に使用された政府専用機



原発警備に関する警察との共同訓練の実施

「統合機動防衛力」とは

22大綱策定以降、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、平素の活動に加え、グレーゾーンの事態を含め、自衛隊の対応が求められる事態が増加するとともに長期化する傾向

- 装備の運用水準を高め、その活動量を増加させ、統合運用による適切な活動を機動的かつ持続的に実施していくことに加え、防衛力をより強靱なものとするため、各種活動を下支えする**防衛力の「質」及び「量」を必要かつ十分に確保**し、抑止力及び対処力を高めていくことが必要
- 安全保障環境の変化を踏まえ、想定される各種事態について、**統合運用の観点から能力評価を実施**し、総合的な観点から特に重視すべき機能・能力についての**全体最適**を図るとともに、**多様な活動を統合運用によりシームレスかつ状況に臨機に対応して機動的に行い得る実効的なものとしていくことが必要**

幅広い後方支援基盤の確立に配慮しつつ、高度な技術力と情報・指揮通信能力に支えられ、ハード及びソフト両面における**即応性、持続性、強靱性及び接続性も重視した「統合機動防衛力」を構築**

(参考1) 22大綱における「動的防衛力」との違い

【動的防衛力とは】

- 「動的防衛力」は、①警戒監視等の平素からの活動の常時継続的な実施、②各種事態への迅速かつシームレスな対応、③国際協力への積極的な取り組みといった「運用」を重視した防衛力

【問題点】

- 「動的防衛力」の構築に当たっては、活動量の増大に焦点を当てる一方で、厳しさを増す安全保障環境や東日本大震災における活動等を踏まえれば、活動量を下支えする防衛力の「質」と「量」の確保が必ずしも十分とは言えない状況



【質と量の確保】

- 新たな大綱においては、このような反省に立って、想定される各種事態に十分対応できるか、防衛力の能力評価を実施。その際、これまでのような各自衛隊ごとに能力評価を行うのではなく、自衛隊全体の機能・能力に着目した、統合運用を踏まえた能力評価を初めて実施

【動的防衛力との比較】

- 「統合機動防衛力」は、「動的防衛力」に比較して、
 - ✓ 統合運用の考え方をより徹底
 - ✓ 海上優勢・航空優勢の確保や機動展開能力の整備
 - ✓ 指揮統制・情報通信能力の強化
 - ✓ 地方公共団体や民間部門との連携強化を含め、幅広い後方支援基盤(訓練演習、運用基盤、人事教育、防衛生産・技術基盤、研究開発、知的基盤等)の確立に配意
- などにより、即応性、持続性、強靱性及び接続性を特に重視しつつ、多様な活動を状況に臨機に即応して機動的に行い得る、より実効的な防衛力の構築を目指すもの

(参考2) 統合運用に基づく能力評価

- 刻々と変化する我が国を取り巻く安全保障環境に適応することが必要
- このため、想定される各種事態への対応について、**自衛隊全体の機能・能力に着目した統合運用の観点からの能力評価**を実施
- 総合的な観点から特に重視すべき機能・能力を導き出し、将来のあるべき防衛力に適切に反映

能力評価に基づく防衛力整備のイメージ

25年度完成時防衛力

能力評価等

目指す防衛力
新大綱・中期防で

能力評価等により導き出した、特に重視すべき機能・能力の整備を優先

日米同盟の強化

- 日米安全保障体制は我が国の**安全保障の基軸**
- 日米同盟は、我が国のみならず、アジア太平洋地域、さらには世界全体の**安定と繁栄のための「公共財」**

抑止力及び対処力の強化

- 「**日米防衛協力のための指針**」の見直し
- 平素から各種事態までの**シームレスな協力態勢を構築**

✓ 共同訓練・演習 ✓ 共同の情報収集・警戒監視・偵察活動 ✓ 施設・区域の共同使用の拡大
✓ 弾道ミサイル防衛 ✓ 計画検討作業 ✓ 拡大抑止協議 等



米海兵隊との共同訓練(グアム・テニアン)

幅広い分野における協力の強化・拡大

- **アジア太平洋地域を含む国際社会の平和と安定に寄与**

✓ 海賊対処 ✓ 能力構築支援 ✓ 人道支援・災害救援 ✓ 平和維持 ✓ テロ対策
✓ 海洋・宇宙・サイバー分野

- **災害対応**に関して、自衛隊と米軍との**連携を一層強化**
- **情報協力・情報保全、装備・技術面での協力**など、幅広い分野で関係を強化



トモダチ作戦

在日米軍駐留に関する施策の着実な実施

- 在日米軍の**円滑かつ効果的な駐留**を安定的に支えるとともに、**在日米軍再編を着実に進め**、米軍の抑止力を維持しつつ、**地元の負担を軽減**
- 特に、**普天間飛行場の移設**を含む在沖縄米軍施設・区域の**整理・統合・縮小**等により**沖縄の負担軽減**を図る



普天間飛行場

安全保障協力の積極的な推進(1)

アジア太平洋地域における協力



域内の対立的な機運や相互の警戒感を軽減するための**協調的な各種取組**を更に**多層的に推進**

域内各国との関係の強化等

- 【韓国】～ 緊密な連携を推進し、今後の関係基盤を確立（情報保護協定や物品役務相互提供協定の締結等）
- 【豪州】～ 協力関係を一層深化（PKO等の分野での協力を強化、共同訓練等を実施し相互運用性の向上を図る）
- 【中国】～ 安全保障対話・交流の推進・不測事態を防止等のため信頼醸成措置の構築
- 【ロシア】～ 信頼関係の増進（「2+2」等の安保対話、ハイレベル交流、部隊間交流、共同訓練・演習の深化）
- 【インド】～ 幅広い分野における関係の強化（海洋安全保障、共同訓練、演習等）
- 【能力構築支援】～ 今後の安保環境の安定化・二国間の防衛協力強化に有効な取組として推進
 - ✓ ODAなど外交政策との調整、国際平和協力活動等との連携、支援対象国・内容を拡充
- 【多国間安保協力・対話】～ 米・豪と連携しながら域内の関係構築に主体的に貢献
 - 多国間共同訓練・演習への参加／ARF・ADMMプラス等の多国間枠組みも重視



豪州とのPKO協力(南スーダン)



ロシア2プラス2(25年11月)



インドとの共同訓練



ADMMプラス(25年8月)

安全保障協力の積極的な推進(2)

国際社会との協力

- **グローバルな安全保障上の課題**等は、一国のみで対応することが極めて困難
- 近年、**軍事力の役割が多様化**し、平和構築や信頼醸成の増進において重要な役割を果たす



平素から国際社会と連携しつつ、**グローバルな安全保障環境の改善**のため、各種取組を推進

【各種取組の継続・強化】

- **軍備管理・軍縮、不拡散、能力構築支援**等に関する各種取組を継続・強化

【欧州諸国等との協力】

- **EU、NATO、英国・仏国**等の欧州諸国との協力を一層強化。**装備・技術**面での協力・交流を推進

【国際平和協力活動等の推進】

- **国際平和協力活動等を積極的かつ多層的に推進**
 - ✓ 自衛隊の能力を活用した活動を引き続き積極的に実施
 - ✓ 現地ミッション司令部や国連PKO局等における責任ある職域への自衛隊員の派遣を拡大



フィリピン国際緊急援助活動



能力構築支援(東ティモール)



日英防衛相会談



PKOの活動(UNMISS道路整備)

IV 防衛力の在り方

防衛力の役割と重視すべき機能・能力

防衛力の役割

統合機動防衛力の考え方の下、以下の分野において求められる役割を効果的に果たし得るものとし、その役割に十分対応できる態勢を保持

【各種事態における実効的な抑止及び対処】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ① 周辺海空域における安全確保 | ② 島嶼部に対する攻撃への対応 |
| ③ 弾道ミサイル攻撃への対応 | ④ 宇宙空間及びサイバー空間における対応 |
| ⑤ 大規模災害等への対応 | |

【アジア太平洋地域の安定化及びグローバルな安全保障環境の改善】

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ① 訓練・演習の実施 | ② 防衛協力・交流の推進 |
| ③ 能力構築支援の推進 | ④ 海洋安全保障の確保 |
| ⑤ 国際平和協力活動の実施 | ⑥ 軍備管理・軍縮及び不拡散の努力への協力 |



自衛隊の体制整備に当たっての重視事項

各種事態における実効的な抑止及び対処を実現するため、海上優勢及び航空優勢の確実な維持を優先、機動展開能力の整備も重視し、特に以下の機能・能力を重点的に強化

【重視すべき機能・能力】

- | | |
|----------------------|----------------|
| ① 警戒監視能力 | ② 情報機能 |
| ③ 輸送能力 | ④ 指揮統制・情報通信能力 |
| ⑤ 島嶼部に対する攻撃への対応 | ⑥ 弾道ミサイル攻撃への対応 |
| ⑦ 宇宙空間及びサイバー空間における対応 | ⑧ 大規模災害等への対応 |
| ⑨ 国際平和協力活動等への対応 | |

周辺海空域における安全確保

防衛力の役割

- 平素からの広域にわたる**常続監視**
- **領空侵犯**に対する即時適切な措置
- 主権侵害に対する**実効的・機動的**な対応
- 事態の推移に応じた**シームレス**な対応



警戒監視活動を行うP-3C哨戒機

重視すべき機能・能力

- 実効的な抑止及び対処の確保のため**無人装備の活用**
- 航空機や艦艇等の目標に対する**常続監視**を広域にわたって実施
- 情勢の悪化に応じて**態勢を柔軟に増強**

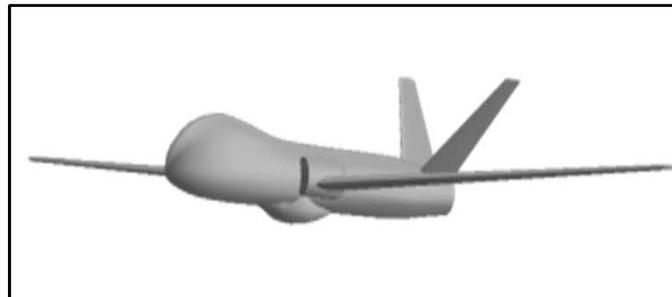


我が国領空を守るF-15戦闘機

今後更に必要となる装備品の例



早期警戒(管制)機 (イメージ)



滞空型無人機 (イメージ)



新型護衛艦(イメージ)